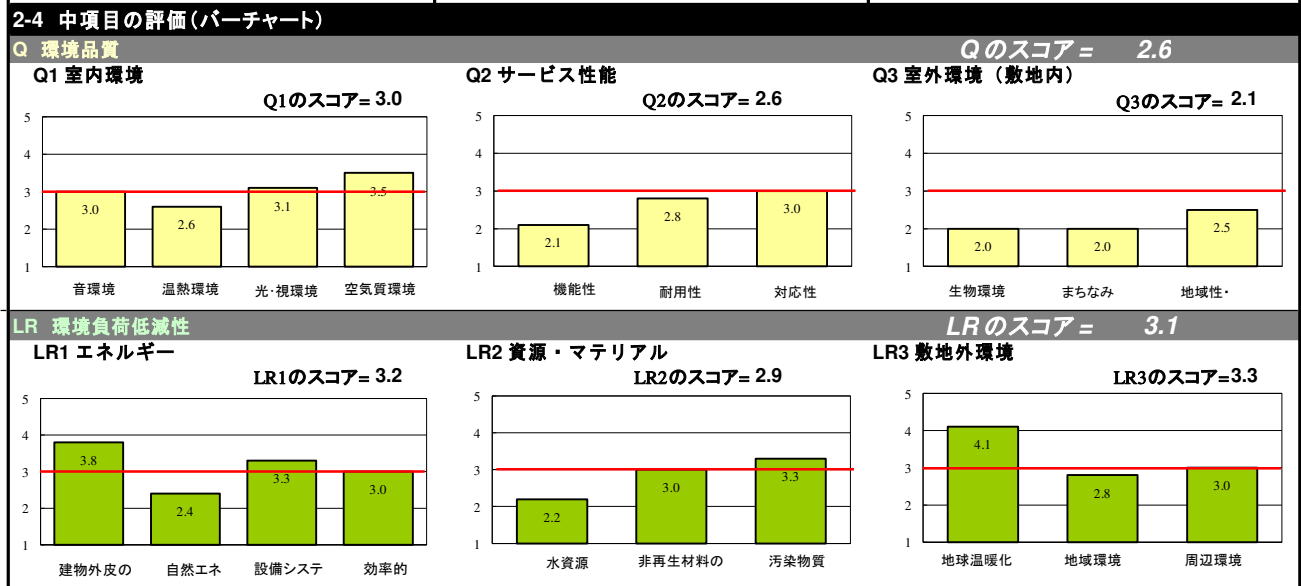
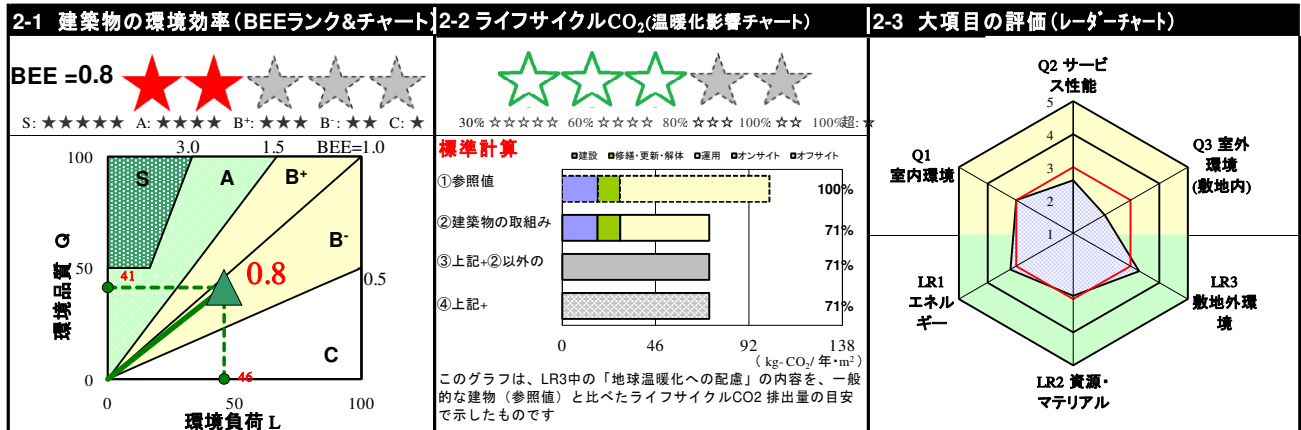
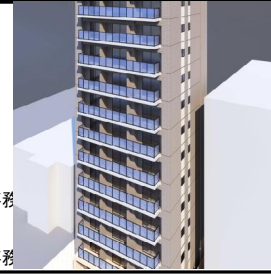


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	布施・岡島ビル新築工事	階数	地上14F
建設地	東大阪市足代	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,病院,集合住宅,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日	2024年11月15日
敷地面積	897 m ²	作成者	高松建設株式会社大阪本店一級建築士事務
建築面積	664 m ²	確認日	2024年12月9日
延床面積	4,691 m ²	確認者	高松建設株式会社大阪本店一級建築士事務



3 設計上の配慮事項		
総合 内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用し、室内環境への配慮を行っている。 外構にはできる限りの緑地を設けている。		その他 特になし
Q1 室内環境 内装材はほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用している。	Q2 サービス性能 設備の更新制に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 地域性・アメニティへの配慮に関して標準的な取り組みを行っている。
LR1 エネルギー LED照明を採用。	LR2 資源・マテリアル ノンフロン断熱材を採用。	LR3 敷地外環境 広告物照明を行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		布施・岡島ビル新築工事						
建設地		大阪府東大阪市足代						
用途／区分		集合住宅 その他のすべての用途						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						Bー	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	断熱性能						4	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分					3	
④	エネルギー消費性能						3	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分					1	
		非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分					6	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—

	エネルギー消費量の報告	対象外
--	-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮	4.1	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環 2. 2 温熱環境悪化の改善	3.0	
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制	3.8	4
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化	3.3	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用	2.4	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	—

その他		
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項		